

ひと

自然地形

の造成デザ
インを伴う
複合用途の
敷地計画を
指すランド
プランニン
グ（LP）。「都市計画や
建築、生態系など総合的な
知識が必要で、ランドスケ
ープ分野に属する技術」だ
という。

転機は1980年代から
約20年携わった「湘南国際
村」。LPの意義や役割を
確認できたことから、その
後の「沖縄科学技術大学院
大学」などの仕事にもつな



(株)ランドプランニング
(千葉県松戸市)代表取締役

はぎの かず ひこ
萩野 一彦 氏

「次世代の人々と自然のために ランドプランニングを」

がった。

東日本大震災が起きた2011年3月に博士論文「丘陵地開発における造園的保全の技法としてのランドプランニング」を執筆。以降、宮城県石巻市の復興祈念公園や福島県大熊町、双葉町の復興事業にも携わった。

近年では「造るだけでなく、使うこともデザインする」必要性を感じ、公園や緑地での公民連携を支援する団体「ランドスケープ経営研究会（LBA）」を設立し、活動している。

また、大規模計画が少ないことから「LPの担い手が育たない」現状を危惧。そのためもあり、千葉大学の客員教授として教壇に立つ。「目先の問題よりも『次世代が良くなること』を考える習慣を身に付けさせたい」と語る。（栗田涼）